



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Oowa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850 Jspan
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Kim Sang-Chae(Korea)
 "Y's Men with the World" 「世界とともにワイズメン」
- アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポートクラブ)
 "Make a difference beyond the 100th"
 「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一！」
- 西日本区理事 新山兼司(京都トップス)
 "Challenges for the future" 未来への挑戦
- 六甲部部长 大野智恵(神戸ポートクラブ)
 寄り添い、分かち合い～『三方よしで、みんな笑顔』
 Snuggle up and share with you "Smile on each side"
- 芦屋クラブ会長 大岩雅典
 ワイズメン相互の知識理念の共有

今月の聖句

あなたがたも聞いているとおり、「目には目を、歯には歯を」と言われている。しかし、私は言うておく。悪人に手向かってはならない。誰かがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。
 <マタイ福音書 5:38～39>

7月第1例会

と き: 2021年7月21日(水) 19:00～21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋
 司 会: 福原吉孝ワイズ

1. 開会点鐘 大岩雅典会長
2. クラブソング 斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
4. みどり作業所へみどり基金贈呈 ビデオ上映
5. ゲスト・ビジター紹介 福原吉孝ワイズ
6. 食前感謝 山口光一ワイズ
7. 会食・歓談
8. 大野智恵六甲部部长挨拶
9. 大岩会長所信表明
10. メンバー'sスピーチ 島田 恒ワイズ
 「いま私たちはどこにいるのか」
11. 事務報告 大岩雅典会長
12. 各事業委員報告 クラブ事業委員
13. YMCA報告 坂本担当主事
14. ニコニコ献金報 坂東幸子ワイズ
15. 誕生日祝い 大岩雅典会長
 篠坂幸彦・菅原進・羽太英樹・羽太光子(敬称略)
16. 神戸YMCA 井上総主事挨拶(リモート参加)
17. 閉会点鐘 大岩雅典会長

- 会 長 大岩雅典
 直前会長 大岩雅典
 副 会 長 菅原 進・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 連絡主事 坂本孝司
 六甲部メネット主査 上野恭男

7

July, 2021
 289号

新しい期をむかえて

会長 大岩雅典

今年も続けて会長を奉仕させていただくこととなりました。私の方からは是非継続させて頂きたいと申し出ました。その願い受け止めてくださった、芦屋ワイズの皆様に感謝申し上げます。

今年度の会長スローガンは、『ワイズメン相互の知識理念の共有』です。組織の中で積極的に動く人間も、そうでない方々もワイズダムにかかわる思いは同じなのに、どうしてこんな温度差を感じるのだろうか?という素朴な疑問から発想した事でした。沢山のメールを見て、そして添付されている事業内容の断片を通信欄で読み、多すぎる情報の中から取捨選択していく作業の、多いことに閉口してしまうこともあります。ワイズダムに奉仕する目的を同じくする者同士が、議論になってしまうこともありました。

コロナで全部リセットとなり、まったく活動もできず中止と、前例のないやり直しばかりで、昨年度は振り回されてばかりでした。エンターテイメントは全部中止、交流会も合同例会も全部無くなりました。ですが光明もあり、インターネットの活用方法が飛躍的に、身近なものとなり今までは違う、交流が生まれたことは本当に良かったと思います。主題にあります、『ワイズメン相互の知識理念の共有』はそんなところから考えつきました。新しいアプローチで、知識理念の共有に力を入れていきたいと思えます。

6月例会(リモート)集計

| 第1例会出席 | | 例会出席率 | | BF切手 累計 gm |
|--------|-----|-----------|-----|------------------|
| メンバー | 12名 | 出席者 | 12名 | |
| ビジター | 名 | メイクアップ | 名 | ニコニコ 110,000円 |
| ゲスト | 名 | 合計 | 12名 | |
| メネット | 名 | 在籍者 | 18名 | 累計 193,891円 |
| コメント | 名 | (内広義会員1名) | | |
| 合計 | 12名 | 出席率 | % | |

6月第1例会報告

日時： 2021年6月6日(水) 18:30~20:00
場所： 自宅(ZOOM 例会) (敬称略)
出席者： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、菅原、
中山、羽太、浜瀬、板東、福原(各ワイズ)、
坂本担当主事

今月もオンライン ZOOM による例会となった。参加者は 12 名、開会点鐘(ちょっと聞こえにくかった一笑)、クラブソング(ぼらぼら一笑)があり、羽太メンによる聖書朗読とメッセージ(これは心に沁みた)が続いた。



会食。筆者はビールとつまみのみ、上野メンは十分に準備された食事に加え豪華ブランドイとワインを見せびらかす(唾だけゴックン)。和気あいの時間となった。

いよいよ今日のスピーチ。会長・柏原書記・桑野メンによる出張の収録作品の放映が始まった。今日のゲストスピーカーは森田恵三ワイズ。京都ウエストワイズメンズクラブ会員、西日本区理事も経験され、ワイズ将来構想委員会を立ち上げ長年熱心にワイズ運動に貢献されてきた指折りの方である。森田ワイズは、ワイズがもっと盛んになりメンバーや YMCA、そして社会が豊かになるための経験や方策を熱心に披露された。何よりもキャッチフレーズは「ワイズ温泉どっぷり論」である。入会者の拡大もさりながら、折角入られたメンバーが退会してしまう懸念を示された。みんなが「ワイズ温泉」に足や腰だけを浸らせるのではなく、どっぷり全身で浸かること、そのなかでワイズの醍醐味を味わい積極的に参加していくことの重要性を述べられた。そのためには例会が他にない楽しみをもち、人生に為になるものであるよう設計されることが大切、と主張された。そのためのキーワードは「愛」であるという先人の言葉を引きつつ、自らも加齢を重ねてもワイズと歩むことを伝えられた。第二例会や YMCA 報告、誕生日祝いをもって閉会となった。その後も ZOOM を通して暫し交流のよろこびを共有することができた。

島田 恒

大岩会長にお伴して(森田ワイズご訪問)

大岩会長は、コロナ禍にも屈せず、あちらこちらに出向き、ビデオレターを作成されています。今回は、会長・主査研修会で話された内容に痛感銘を受け、元西日本区理事森田恵三ワイズにインタビューを申し込まれたところ「柏原さん、桑野さんも一緒に来られないか」とのお誘いがありました。既に森田ご夫妻も桑野も私も第1回ワクチンを終えていたこともあり、大岩会長のお陰で久しぶりの京都、森田家を訪問いたしました。



森田ワイズは、故柏原をワイズメンに育てて頂いたご縁で私の最も敬愛すべきお方です。様々な著書などは、私が紹介するまでもありませんが、いつも素晴らしいと感じていたことの一つに、国際大会でも区大会においても、常に奥様と一緒にご自身のメンバーの皆さまと共に行動されていることです。そして、後進に道を譲り育てるという理想を一貫して通されておられます。私個人的には、区大会の理事引継ぎ式の立会人を交代されたのは、少し早すぎたと感じましたが、素晴らしい後継者に受け継がれています。突然、4年前「ワイズ起こし・パートナーシップ」運動を起こされました。ワイズの行く末を憂慮されワイズへの熱い想いを形にされたのだと思います。

ワイズルームの一部屋に飾られた夥しい数々の品々から60年の歴史が語られ息遣いが聞えるように感じました。その後、その部屋で大岩会長の要望でインタビューを受けら



れましたが、大岩会長の手で、素晴らしい記録とされることを期待しています。その間、直子メネットさまとは、やはりワイズの懐かしい華やかな頃の思い出話に花が咲きました。「又遊びに来て！」と嬉しいお言葉に見送られて…。大岩会長の突っ走り♪にも感謝の1日でした。

柏原佳子

みどり基金を贈呈しました

みどり基金の後期献金をどうするか、コロナで例会すら開けないので銀行振り込みとなりました。

例年とは違って振り込みによる指定献金だったせいか、目標金額を大きく超え、73,900円となりました。例会は ZOOM 例会だったので、みどり作業所に出向いての贈呈になりました。

6月22日(火)12時に、みどり福祉作業所に大岩会長、柏原書記、羽太会計、中山ワイズ、上野が集合し贈呈式に臨みました。

2階には、30名を超える入居者がそろって迎えてくれました。

柏原書記の司会で始まった贈呈式



は、大岩会長の挨拶の後、羽太会計より大沢昌子所長代理にみどり基金が贈呈されました。

今を去る10年ほど前は、献金もバラバラでまとまりがありませんでしたが、柏原佳子ワイズの発案により「みどり基金」と名称を変え今日があります。

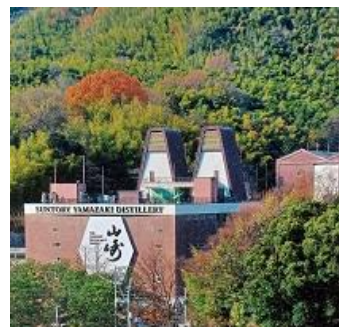
みどり福祉作業所は、いまは亡き町永昭五ワイズが支援し、大澤二郎ワイズが恩師でもある町永先生とのつながりで芦屋クラブ会員になったことを想い、地域奉仕のよき働きができた嬉しく思いました。

上野恭男

魅せられて VI

篠坂幸彦

25年前【サントリー山崎蒸留所内】に【山崎倶楽部】と言う会員制のサントリーファンの集まりがあり入会した。高級・新銘柄【響】【山崎】が販売されだして間もない頃だ。◆阪急京都線【大山崎駅】下車徒歩15分にある蒸留所は天王山・山麓の森の中に一部レンガ造りでショウキョウな建物があり数回通った。(名神高速及び各線・鉄道からよく見える。)◆この時の入会者は15名程で【サントリー】の歴史を資料室で詳しく学びその後、広い森の中に佇む絵に描いた様な周辺を散策し、この場所が選ばれた理由等の説明を受ける。◆【大麦の選定、麦芽の乾燥、仕込み、発酵、蒸留、熟成】の工程を経てホコリひとつ無い工場内には整然と並ぶ莫大な数の【貯蔵樽】(最低でも4年間、年代物なら10年以上の眠りに付いている。)ピカピカに磨かれた大きな【蒸留器(ポットスチル)】を目にし呆然とする。



◆尚帰り際に【サントリーのオリジナルウイスキー】はもとより【輸入スコッチ】が数100本展示されたほぼ全面がガラス張りの明るく広い一室でのテスト(有料)をして解散に。◆資料室での講座をもう少し詳しく……。大阪・船場道修町にある薬種業・2代目、【小西儀助商店】の奉公人(13~19才)であり、ここから独立し【赤玉ポートワインの寿屋】からスタートしたサントリーの創始者【鳥井信治郎氏】がいた。◆そして現在でもこの場所は合成接着剤の【コニシボン】として存在し、元・大阪三越百貨店の隣、堺筋に沿って二階建日本家屋の重要文化財【旧・小西家住宅】として立派に保存されている。(私は北船場界隈はこの建物内部も見学済み) ◆ここ数年前にはNHK朝ドラ【マッサン】でサントリーの鳥井信二郎氏の元と一緒に仕事をしていたニッカウイスキー創始者【竹鶴政孝氏】とも繋がって行く。 次号へ続く

YMCA 大会報告

2021年度の神戸YMCA大会は、オンラインでの実施となりました。Zoomでの開催にも関わらず、70名を超える多くの参加者がありました。芦屋ワイズメンズクラブからは、上野ワイズ、島田ワイズ、柏原ワイズ、桑野ワイズが参加をされました。(担当主事坂本も参加)

70名を超えるZoomでの開催であったため、スタート直後、音声等のアクシデントがありましたが、神戸YMCA常議員、神戸教会の西脇牧師の奨励をもって、大会が無事スタートしました。皆で祈りを合わせたのち、逝去者をしのんで黙祷を捧げ、名誉会員、新総会構成員のご紹介がありました。そしてボランティア表彰、リーダー委嘱式、同盟表彰者の紹介、新常議員の紹介と続きました。

その後の「活動の報告」では、様々な部署の担当者より、このコロナ禍において、大変な状況ではあるものの、それぞれでチャレンジされたこと、その取り組みの実際が報告されました。ユース委員会の働き、日本語学科の学生たちの様子、高等学院やホテル学科の学生と北欧とのオンライン交流、また保育園や幼稚園の毎日の保育の様子、そしてウエルネスセンターのコロナ禍の取り組みについて、それぞれの職員、スタッフから映像を交えて報告がありました。それぞれで本当にいろんなチャレンジがなされていたこと、そして多くの方々に支援をいただいて、活動が進められてきたことを確認することができました。

井上総主事よりからは財務的にも厳しい状況が報告されました。そしてこれからのあゆみについても中道理事長からお話がありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を含め、神戸YMCAを取り巻く状況は厳しいものがあるものの、神戸YMCAのAの意味を再確認して、進んでいく大切さを共有する機会となったと思われまふ。最後は、グループディスカッションで、限られた時間ではありましたが、会員同士で語り合う時間がありました。

2021年度の神戸YMCA大会は、職員、スタッフ初のチャレンジでした。この度は、大会のお申込みから初めてのことをお願いすることとなりました。大会への御参加、御協力を本当にありがとうございました。 坂本孝司(担当主事)

ど根性ゆり レインボウ・リリー

◆茶屋之町で「ド根性さくら」を見かけてから2ヵ月が経ちました。相変わらずのコロナ禍の日々の中で小さな花を見つけてホッとした気持ちになるのも不思議です。記録的に早い梅雨入りをした近畿地方ですが、梅雨の中休みの今日の午後、芦屋市内をリハビリ・ウォーキングしました。ちょうど1万歩でした。

「あゆみ橋」を渡って芦屋ワイズが支援している「みどり作業所」のある陽光町のスーパーで買い物をして帰りは「浜風大橋」を海風にあたりながら渡り、橋の北端の浜風町の遊歩道で「ド根性ゆり」に出会いました。梅雨の季節に咲く花でレインボウ・リリーという名があるようです。

月例の例会も4月、5月、6月と「ZOOM例会」が続き、対面での再会の日が早いことを祈るのみです。

6月20日で宣言解除となって7月例会はまた「竹園」で楽しい例会が出来ればいいのですが… 羽太英樹



◆ド根性ゆりの、優雅かつたかな写真を有難うございます。私にはこんなド根性は欠けているのですが、学びたいですね。Zoomながら例会でお会いするのを楽しみにしています。 島田 恒

◆「レインボウ・リリー」という名を持つ花の愛らしさ、いじらしさに思わず見とれました。

昔、「ど根性大根」で勇気もらった話題がありましたが、悲しい結末でかえって心が痛んだのを思い出しました。浜風町には時々行く事があります。ぜひ、会ってみたいと思います。

梅雨の合間に爽やかな一陣の海風が吹いてきたようです。いつも有り難うございます。 柏原佳子

聖句 読み解き

「目には目を、歯には歯を」という同害報復の規定は、イスラエルだけでなく古代中東社会における普遍的な原則であった。これに対してイエスは報復を全面的に禁止しようと訴え、さらに言い加える。「誰かがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」と。右の頬を打たれても、なお左の頬を差し出す度胸を持ってと説くのである。

これは積極的な無抵抗主義がイエスの考えかもしれない。キング牧師ははやる黒人同胞に対し「非暴力による抵抗」を訴え人種差別撤廃のため公民権獲得のため闘った。しかし、今の世にはまだ世界各地で「報復合戦」が絶えない。イエスの説く暴力の無い平和を祈るものである。

6月第2例会報告(抄)

日時：2021年6月23日(水) 18:00~20:00

場所：芦屋市民センター205号室

出席者：大岩会長・上野・柏原・桑野・島田・中山・羽太
福原(各ワイズ)・坂本担当主事 &
川崎孝子ワイズ(神戸クラブ)

議事・報告

□2021年度7月以降の例会運営について

7月 キックオフ例会 プログラム参照
H竹園で行なう(コロナ禍による変更もありうる)

8月 西宮クラブとの合同納涼例会は一旦白紙となったが
コロナ禍の状況により改めて話し合う
ビデオレター：川上孝司ワイズ(京都パレス)による
『ロールバックマラリア』 (承認)

9月 ネット例会
大岩恵美メネット歌、羽太光子メネット腹話術 (承認)

(継続検討事項)

- ※ もりおかクラブ・熊本南クラブとのZOOMでのDBC交流会を検討
- ※ リモート参加ゲストスピーカーやビデオ収録可能なゲストをご提案願いたい。

□神戸クラブ川崎孝子ワイズより「いちえんキャンプ」の紹介と
支援要請があり、クラブから30,000円を献金する (承認)

□みどり作業所へ「みどり基金」贈呈式 プリテン掲載

参加者：大岩会長・上野・柏原・羽太・中山(各ワイズ)

□須磨のり お中元ファンドの件

□2021-2022年度ロスターは10冊注文、東日本区ロスターの
データーについては会長が確認をする

□会計報告 羽太英樹ワイズ

- ① 5月度 会計報告
- ② 6月年度末繰越金の一部から神戸YMCAへ200,000円を支援献金とする
- ③ 西日本区大会のZOOMでの参加費5,000円をクラブ負担とする

□YMCA報告：坂本担当主事報告(プリテン掲載)

□その他(条例)

- ① 第2例会を役員・メンバー全員の意見交換の場とし、
大小に関わらず可決・承認を得て運営される
- ② 第2例会に特別に参加されるゲスト・ビジターは、報告
後は会議から退出していただく。連絡を受けたメンバー
は会長・書記に報告し、予め訪問者に了解を得ること
とする。 柏原佳子(書記)

YMCA ニュース

■2021年度余島サマーキャンプ

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、思うように実施できなかったサマーキャンプですが、今年は、感染症対策を十分に講じて、サマーキャンプを実施いたします。コロナ



禍において、貴重な自然体験、そして仲間たちとの体験が少なくなっている子どもたちへ。どうかこの夏、かけがえない体験の機会を、お知り合いの方々へ御吹聴ください。
◎キャンプラインナップは、こちらからご確認ください。

... <https://gift.kobeymca-yoshima.jp/blogs/events/yoshimasummercamp2021>

■いちえんキャンプについて

このキャンプの参加費は「1円」です。

キャンプで出会うのは、一つの縁で繋がる仲間。そして、キャンプで過ごす一夏の宴。新型コロナウイルスの影響で夏の宿泊行事が無くなった皆さんに向けたキャンプです。キャンプ場を運営している私たちが大変厳しい状況です。そして、この素晴らしい世界を体験する機会を奪われている皆さんも、苦しい中にいます。ぜひ、ご寄付という形でキャンプ運営にご協力ください。

実施期間：2021年7月26日(月)~31日(土)

いちえんキャンプA(2泊3日):7月26日~28日

いちえんキャンプB(3泊4日):7月28日~31日

会場：YMCA Camp Yoshima

香川県小豆郡土庄町字余島

定員：各40名~80名

◎このキャンプへのご支援は、こちらから・・・

<https://gift.kobeymca-yoshima.jp/products/ichienecamp>

■神戸YMCA学院専門学校 学生支援物資提供
コープこうべさまよりお米80kgと、さんだワイズ安行さまより、食料品各種をいただきました。

このコロナ禍において、アルバイトが少なくなっている状況があります。また留学生たちは、母国からの仕送りや送金が得られなくなって、収入が減っていることもあり、生活が厳しくなっている学生もいます。そのような中では、お米やインスタント食品は学生たちにとって、とてもありがたい支援です。心より感謝いたします。是非、学生達のご支援をお願いいたします。

支援物資のお申し出は、神戸YMCA学院専門学校
担当：中道(なかみち)・鐘(しょう)まで

■ワークショップ難民 houshi@kobeymca.org

■第18回多文化共生のための国際理解教育・開発教育オンラインセミナー：
jicaksic-renkei@jica.go.jp

詳しくはYMCAへお問い合わせください。

編集後記： ◆ワクチン接種が進んでいます。周囲の人の
中にも「2回接種終了」の方が増えてきました。ただ陽性者が
減らないまま、オリンピックもまじか、どうなることでしょうか？
◆対面での例会がホテル竹園芦屋で開催され、プリントされ
たプリテン7月号を手にとって頂けます事を願っています。
◆みどり基金良かったですね。次号もみどり作業所に関する
Good Newsが掲載されます。乞うご期待！ 桑野